

定期報告書

令和 年 月 日

青森県知事 殿

住所

農場名

電話番号 — —

家畜伝染病予防法第12条の4第1項の規定により、以下のとおり報告します。

1. 基本情報

家畜の所有者の氏名又は名称	
家畜の所有者の住所	郵便番号 —
家畜の所有者の連絡先	電話番号 : FAX番号 : 電子メールアドレス :
飼養衛生管理者の氏名	
飼養衛生管理者の住所	郵便番号 —
飼養衛生管理者の連絡先	電話番号 : FAX番号 : 電子メールアドレス :
飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所	郵便番号 —

定期報告の作成と提出のお願い

青 森 県

1 定期報告の目的と利用の範囲

全ての家畜の飼養者は、家畜伝染病予防法第12条の4第1項の規定により、飼養頭羽数及び衛生管理の状況について、年1回、県に報告しなければなりません。

別紙の「定期報告書」の様式に、**令和3年2月1日現在**の飼養頭羽数、衛生管理の状況を記載し、提出をお願いします。

記載方法についてのお問い合わせは、最寄りの家畜保健衛生所をお願いします。

また、皆様から報告いただいた内容については、下記のとおり利用しますので、御了承ください。

【利用の範囲】

- ① 家畜の飼養管理指導の参考とします。
 - ② 家畜防疫及び畜産振興を目的として、国、市町村、県の畜産担当部署間で情報の共有を行います。（畜産担当部署以外に個人情報提供されることはありません）
 - ③ 家畜の飼養頭羽数等については、市町村ごとに集計を行いますが、集計結果については、農業畜産関係団体に対し、個人の飼養状況が確認できないよう集計・加工した上で、提供される場合があります。
- ※黒毛和種繁殖農家の氏名、住所、繁殖雌牛の飼養頭数の情報については、県基幹種雄牛の凍結精液を適正に配分するため、供給計画を作成する全国農業協同組合連合会青森県本部に提供します。

2 定期報告書提出期日

市町村又は各家畜保健衛生所にお問合せください。

「馬用」

市町村名	氏名

2. 家畜の種類及び飼養頭数等

(単位：頭)

競走用軽種馬						
種雄馬	繁殖めす			肥育用	その他用	主な品種名
	3歳以上	3歳未満 1歳以上	1歳未満			
農用馬（ペルシュロン種・ブルトン種・半血種）						
種雄馬	繁殖めす			肥育用	その他用	主な品種名
	3歳以上	3歳未満 1歳以上	1歳未満			
その他（乗系馬・小格馬等）						
種雄馬	繁殖めす			肥育用	その他用	主な品種名
	3歳以上	3歳未満 1歳以上	1歳未満			

注1：目的別に記載すること。競走用軽種馬欄は、競走馬の生産及び販売を目的として飼養しているものの頭数とし、軽種馬の乗系についてはその他に記載すること。

2：主な品種名欄には、最も多く飼養している品種名を記載すること。

家畜の出荷頭数

肥育馬出荷頭数

※肉用と畜を目的とし、出荷したもの

畜舎数

畜舎数

※他の畜種と同一畜舎で飼養している場合は、畜舎数欄に〇〇飼養と記載する。

市町村名	氏名

2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況 (4) 馬

※記載方法

- ・自らの農場に関する飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況について、自己点検を行ってください。
- ・1から28までの各項目の設問に対し、自己点検の結果を元に「はい」、「いいえ」又は「該当しない」に丸を付けてください。
- ・「記入欄」がある設問には、措置の状況を記載又は該当する事項に丸を付けてください。
- ・「いいえ」と回答した項目については、記入欄に今後の改善方針を記載してください。

I 家畜防疫に関する基本事項			家畜防疫員 チェック ボックス
1 馬の所有者の責務			
●関係法令を遵守している。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄 内容を理解している関係法令： ・家畜伝染病予防法 ・飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律 ・獣医師法 ・家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律 ・水質汚濁防止法 ・悪臭防止法 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・化製場等に関する法律 ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律			
●農場の所在地域で飼養されている馬の所有者その他の関係者と協力して衛生管理の意識を高め、衛生管理を行っている。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄 (はいの場合) 協力者：地域の他の馬の所有者 (飼養衛生管理者) 市町村 地域自衛防疫団体 その他 ()			
●(所有者以外に飼養衛生管理者がある場合) 飼養衛生管理者と常時連絡可能な体制を確保し、本基準に規定される取組について当該飼養衛生管理者に実施させている。	はい	いいえ	該当しない <input type="checkbox"/>
記入欄 (はいの場合) 連絡体制：携帯電話 事務所電話 メール FAX その他 ()			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			
2 家畜防疫に関する最新情報の把握及び衛生管理の実践			
●家畜保健衛生所等から提供される情報を必ず確認している。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄 (はいの場合) 情報の把握方法：メール 広報誌 FAX ウェブサイト その他 ()			
●家畜保健衛生所等が開催する家畜衛生に関する講習会への参加、農林水産省のウェブサイトの閲覧等を通じて、家畜防疫に関する情報を積極的に把握している。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄 (はいの場合) 情報の把握方法：講習会 () ウェブサイト その他 ()			
●家畜防疫に関する最新情報を踏まえ、防疫体制を含めて、自らの農場の飼養衛生管理の状況を定期的に点検し改善を図っている。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄 (はいの場合) 点検の頻度：年1回 半年に1回 月1回 週1回 その他 ()			
●農場の最新の防疫体制を確認できるよう、衛生管理区域及び消毒設備等の衛生対策設備の設置箇所を明示した農場の平面図を作成し、備えている。 (要 資料添付)	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
●家畜保健衛生所が行う検査を受け、指導に従っている。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>

記入欄（今後の改善方針）

家畜防疫員記入欄（改善指導の内容、指導年月日）

3 飼養衛生管理マニュアルの作成及び従事者等への周知徹底（令和4年2月施行）

●必要事項を規定した飼養衛生管理マニュアルを獣医師等の専門家の意見を反映させて、作成している。 はい いいえ

記入欄（はいの場合）
マニュアルの作成に当たり意見を求めた者：家畜防疫員 担当の獣医師
その他（ ）

●従事者及び外部事業者が飼養衛生管理マニュアルを遵守するよう、当該マニュアルを印字した冊子の配布、看板の設置その他の必要な措置を講じている。 はい いいえ

記入欄（はいの場合）
周知方法：冊子の配布 看板の設置 その他（ ）

●馬の伝染性疾病の発生の予防及びまん延の防止に関する情報を従事者及び外部事業者等に周知徹底している。 はい いいえ

記入欄（はいの場合）
周知方法：飼養衛生管理マニュアル メール 電話 印刷物
口頭周知 その他（ ）

記入欄（今後の改善方針）

家畜防疫員記入欄（改善指導の内容、指導年月日）

4 記録の作成及び保管

以下に掲げる事項に関する記録を作成し、少なくとも1年間保存している。

●衛生管理区域に立ち入った者（※1）の氏名及び住所又は所属、衛生管理区域への立入りの年月日、その目的（※2）及び消毒の実施の有無（車両を入れる者にあつては、当該車両の消毒の有無を含む。） はい いいえ

不特定かつ多数の者が立ち入ることが想定される施設（観光牧場等）において、衛生管理区域の出入口における手指及び靴の消毒等、病原体の持込み及び持出しを防止するための規則をあらかじめ作成し、家畜防疫員が適切なものであることを確認した場合は記録は不要である。※1当該農場の従事者を除く。 ※2所属等からその目的が明らかな場合を除く。

●消毒の実施の記録については、衛生管理区域の出入口等に台帳を設置し、確実に記録させている。 はい いいえ

●（衛生管理区域に立ち入った者が過去一週間以内に海外から入国、又は帰国した場合）過去一週間以内に滞在した全ての国又は地域の名称及び当該国又は地域における畜産関係施設等への立入りの有無 はい いいえ 該当しない

●（従事者が海外に渡航した場合）滞在期間及び国又は地域の名称 はい いいえ 該当しない

●導入した馬の種類、頭数、健康状態、導入元の農場等の名称及び導入の年月日 はい いいえ 該当しない

●出荷又は移動を行った馬の種類、頭数、健康状態、出荷又は移動先の農場等の名称及び出荷又は移動の年月日 はい いいえ 該当しない

●飼養する馬の頭数、月齢、異状の有無、異状がある場合にあつては、その症状並びに獣医師による診療結果及び投薬その他の処置の状況 はい いいえ

●家畜保健衛生所、担当獣医師等からの農場指導の内容及び指導年月日 はい いいえ

記入欄（今後の改善方針）

家畜防疫員記入欄（改善指導の内容、指導年月日）

5 獣医師等の健康管理指導			
●家畜保健衛生所と緊密に連絡を行っている担当の獣医師又は診療施設を定め、定期的に当該獣医師又は診療施設から飼養する馬の健康管理について指導を受けている。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄 (はいの場合) 担当の獣医師の氏名及び所属又は担当の診療施設の名称： 指導 (立入) 頻度：年1回 半年に1回 月1回 週1回 その他 ()			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			
6 衛生管理区域の設定			
●農場に病原体の侵入及びまん延の防止を重点的に行う区域として衛生管理区域を設定し、衛生管理区域とそれ以外の区域とに分け、両区域の場所が明確に分かるようにしている。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄 (はいの場合) 衛生管理区域境界の明確化方法： 消石灰帯 (幅 m) 柵 ロープ 三角コーン 垣根 (プランター) その他 ()			
●衛生管理区域は、厩舎、馬に直接接触する物品の保管場所並びに馬に直接接触した者が消毒並びに衣服及び靴の交換を行わずに行動する範囲の全てを網羅している。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
※厩舎の他に、飼料給与、清掃、馬の出荷及び死亡馬の管理等の一連の作業に関連する農場内の敷地の全てを衛生管理区域とすること。			
●出入口の数を必要最小限とし、馬、資材、死体等の持込み又は持出し場所を可能な限り衛生管理区域の境界に位置するよう設定している。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			
II 衛生管理区域への病原体の侵入防止			
7 衛生管理区域への必要のない者の立入りの制限			
●必要のない者を衛生管理区域に立ち入らせないようにしている。さらに、衛生管理区域に立ち入った者が飼養する馬に接触する機会を最小限とするよう必要な措置を講じている。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
※不特定かつ多数の者が立ち入ることが想定される施設 (競馬場、乗馬施設等) において、衛生管理区域の出入口における手指及び靴の消毒等、病原体の持込み及び持出しを防止するための規則をあらかじめ作成し、家畜防疫員が適切なものであることを確認した場合は、この限りではない。			
記入欄 (はいの場合) 措置の内容：門 ロープ 立入禁止看板の設置 その他 ()			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			
8 他の馬の飼養施設等に立ち入った者等が衛生管理区域に立ち入る際の措置			
●当日に他の馬の飼養施設等に立ち入った者 (※) 並びに過去一週間以内に海外から入国し、又は帰国した者を衛生管理区域に立ち入らせないようにしている。	はい	いいえ	<input type="checkbox"/>
※農場の従事者、家畜防疫員、獣医師、装蹄師、飼料運搬業者等は除く。			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			

9 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等			
●衛生管理区域の入口付近に消毒設備を設置し、立ち入る者に対し、当該消毒設備を利用して手指の洗浄及び消毒をさせている。 ※立ち入る者が消毒機器を携行し、消毒している場合を除く。		はい	いいえ
記入欄 (はいの場合) 消毒設備：設置されたスプレー 衛生管理区域専用の手袋の着用 その他 ()			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			
10 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等			
●衛生管理区域の入口付近に消毒設備を設置し、車両の消毒をさせている。 ※立ち入る者が消毒機器を携行し、当該機器を使用して消毒している場合を除く。		はい	いいえ
記入欄 (はいの場合) 消毒設備：ゲート式車両消毒装置 プール式車両消毒装置 動力噴霧器 蓄圧式噴霧器 消石灰帯 (幅 m) その他 ()			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			
11 他の馬の飼養施設等で使用した物品を衛生管理区域に持ち込む際の措置			
●他の馬の飼養施設等で使用し、又は使用したおそれがある物品は、原則、衛生管理区域内に持ち込んでいない。やむを得ず持ち込む場合には、洗浄、消毒その他の必要な措置を講じている。		はい	いいえ 該当しない
記入欄 (はいの場合) 飼養衛生管理マニュアルへの記載の有無：あり なし 持ち込みした回数： 回			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			
12 海外で使用した衣服等を衛生管理区域に持ち込む際の措置			
●過去二月以内に海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域に持ち込んでいない。やむを得ず持ち込む場合には、洗浄、消毒その他の必要な措置を講じている。		はい	いいえ 該当しない
記入欄 (はいの場合) 飼養衛生管理マニュアルへの記載の有無：あり なし 持ち込みした回数： 回			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			
13 飲用水の給与			
飼養する馬には飲用に適した水を給与することとし、適さない水を給与する場合には、消毒して給与している。		はい	いいえ 該当しない
記入欄 使用している飲用水： 水道水 井戸水 (異物混入：なし あり) 湧水 (異物混入：なし あり) その他 () 水質検査：実施していない 実施している (年 回) 飲水消毒：実施していない 実施している			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			

14 馬を導入する際の健康観察等

●他の農場等から馬を導入する場合には、導入元の農場等における馬の伝染性疾病の発生状況、導入する馬の健康状態の確認等を行い、健康な馬を導入している。

はい いいえ 該当しない

●導入した馬に馬の伝染性疾病にかかっている可能性のある異状がないことを確認するまでの間、他の馬と直接接触させないようにしている。

はい いいえ 該当しない

記入欄（はいの場合）
隔離方法：隔離厩舎 隔離畜房 その他（ ）

記入欄（今後の改善方針）

家畜防疫員記入欄（改善指導の内容、指導年月日）

III 衛生管理区域内における病原体による汚染拡大防止

15 馬に立ち入る者の手指消毒等

●厩舎の入口付近に消毒設備を設置し、立ち入る者に対し、厩舎に出入りする際に手指の洗浄及び消毒をさせている。

はい いいえ

記入欄（はいの場合）
消毒設備：設置されたスプレー 厩舎専用の手袋の着用 その他（ ）

記入欄（今後の改善方針）

家畜防疫員記入欄（改善指導の内容、指導年月日）

16 厩舎の入口における靴の交換又は消毒

●厩舎ごとの専用の靴を設置し、厩舎に入る者に対し、これらを着実に着用させている又は靴の消毒をさせている。

はい いいえ

記入欄（はいの場合）
従業員用：専用靴 ブーツカバー 踏込消毒槽 その他（ ）
来場者用：専用靴 ブーツカバー 踏込消毒槽 その他（ ）

●靴に排せつ物、汚泥等が付着した場合には、洗浄及び消毒を行っている。

はい いいえ

記入欄（今後の改善方針）

家畜防疫員記入欄（改善指導の内容、指導年月日）

17 器具の定期的な清掃又は消毒等

●飼養管理に使用する器具の清掃又は消毒を定期的に行っている。

はい いいえ

記入欄（今後の改善方針）

家畜防疫員記入欄（改善指導の内容、指導年月日）

18 厩舎外での病原体による汚染防止

●馬の飼養管理に必要な物品を畜舎に持ち込んでいない。

はい いいえ

記入欄（今後の改善方針）

家畜防疫員記入欄（改善指導の内容、指導年月日）

IV 衛生管理区域外への病原体の拡散防止			
24 衛生管理区域から退出する者の手指消毒等			
●衛生管理区域の出口付近に消毒設備を設置し、退出する者に対し手指の洗浄及び消毒をさせている。 ※退出する者が消毒機器を携行し、消毒している場合を除く。	はい	いいえ	
記入欄 (はいの場合) ※項目9 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等と同じ場合、記載不要 消毒設備：設置されたスプレー その他 ()			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			
25 衛生管理区域から退出する車両の消毒			
●衛生管理区域の出口付近に消毒設備を設置し、車両を出す者に対し車両の消毒をさせている。 ※退出する者が消毒機器を携行し、当該機器を使用し消毒している場合を除く。	はい	いいえ	
記入欄 (はいの場合) ※項目10 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等と同じ場合、記載不要 設置状況：ゲート式車両消毒装置 プール式車両消毒装置 動力噴霧器 蓄圧式噴霧器 消石灰帯 (幅 m) その他 ()			
26 衛生管理区域から搬出する物品の消毒等			
●馬の排せつ物等の付着した又は付着したおそれのある物品を衛生管理区域から持ち出す場合には、洗浄、消毒その他の必要な措置を講じている。	はい	いいえ	該当しない
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			
27 馬の出荷又は移動時の健康観察			
●馬を出荷等により農場外へ移動させる場合には、移動の直前に当該馬の健康状態を確認している。	はい	いいえ	
●馬の死体又は排せつ物を移動させる場合には、漏出が生じないようにしている。	はい	いいえ	
記入欄 (はいの場合) 漏出防止方法 (死体) : 屋根付きトラック 蓋付き容器 ブルーシート その他 () 漏出防止方法 (排せつ物) : 蓋付き容器 ブルーシート その他 ()			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			
28 異状が確認された場合の出荷及び移動の停止			
●馬の死亡率の急激な上昇又は同様の症状を呈している馬の増加が確認された場合には、直ちに獣医師の診療若しくは指導又は家畜保健衛生所の指導を受けている。	はい	いいえ	
●(獣医師の診療若しくは指導又は家畜保健衛生所の指導があった場合) 当該馬が監視伝染病にかかっていないことが確認されるまでの間、農場からの馬の出荷及び移動を行わないこととしている。	はい	いいえ	
●(当該馬が監視伝染病にかかっていることが確認された場合) 家畜保健衛生所の指導に従うこととしている。	はい	いいえ	
●(飼養する馬にその他の異状が確認された場合) 速やかに獣医師の診療を受け、又は指導を求めている。	はい	いいえ	
記入欄 (はいの場合) 従業員がいる場合の周知方法：飼養衛生管理マニュアル 貼紙 口頭周知 その他 ()			
記入欄 (今後の改善方針)			
家畜防疫員記入欄 (改善指導の内容、指導年月日)			

※ 選択肢があるものについては、あてはまるものに○を記してください。「その他」の項目がある場合には、
 () 内に具体的な内容を記入してください。

2 関係者以外を衛生管理区域に立ち入らせないようにする方法・衛生管理区域に立ち入った者が家畜に接触する機会を最小限とする措置の内容	
衛生管理区域の区分方法：	柵 / ロープ / プランター / 白線 / 消石灰帯 / その他 ()
立入制限の表示方法	： 立て看板 / 工事用カラーコーンの設置 / その他 ()
畜舎への立入制限方法	： 畜舎出入口の戸締り / 立入者への付き添い / 畜舎出入口への看板 / その他 ()
その他	： ()
3 衛生管理区域出入口付近・畜舎に設置した消毒設備の種類	
衛生管理区域出入り口：	消毒薬噴霧器 / 車両用消毒槽 / 消毒ゲート / 消毒マット / 消石灰帯 / 踏込み消毒槽 / その他 ()
畜舎出入り口	： 消毒薬噴霧器 / 消毒マット / 踏込み消毒槽 / 手指消毒スプレー / その他 ()

大規模所有者の場合（馬200頭以上）	
1 担当獣医師について	
	氏名：
	所属：